

平成22年11月 マンスリー レポート

集計企業数 **60** 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	45,017,548 万円	100.0%	102.6% (103.1%)	42,856,656 万円	99.8% (100.0%)
食 料 品	36,765,337 万円	81.7% (82.5%)	103.2% (103.7%)	34,909,529 万円	100.0% (100.4%)
農 産	5,334,736 万円	11.8% (12.6%)	112.5% (110.9%)	5,106,182 万円	109.0% (107.0%)
水 産	3,725,222 万円	8.3% (8.1%)	99.1% (99.9%)	3,521,325 万円	96.0% (96.4%)
畜 産	4,454,983 万円	9.9% (9.7%)	101.3% (103.1%)	4,217,278 万円	98.4% (99.6%)
惣 菜	3,724,498 万円	8.3% (8.4%)	104.6% (105.3%)	3,538,789 万円	101.1% (101.5%)
日配食品	8,324,454 万円	18.5% (18.9%)	102.1% (101.9%)	7,881,985 万円	98.7% (99.9%)
加工食品	11,201,444 万円	24.9% (24.8%)	101.8% (102.7%)	10,643,970 万円	98.6% (99.1%)
生活関連	3,526,293 万円	7.8% (7.4%)	102.8% (100.4%)	3,382,931 万円	100.6% (97.7%)
衣 料 品	2,005,226 万円	4.5% (4.0%)	96.9% (97.4%)	1,949,972 万円	99.6% (95.8%)
そ の 他	2,720,692 万円	6.0% (6.1%)	98.8% (102.4%)	2,614,224 万円	97.2% (99.8%)

② 数 値

全店総売上高	45,017,548 万円	店 舗 数	4,051 店舗
総売場面積	7,747,416.3 ㎡	総従業員数	220,636 人

店舗平均月商	11,112.7 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,830 円 (102.8%)
月間㎡売上(前月)	5.8 万円 (6.0 万円)	平均店舗面積	1,912.5 ㎡
月間坪売上(前月)	19.2 万円 (19.7 万円)	パート比率(前月)	76.6% (76.5%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・例年に比べ天候に恵まれた前半は好調に推移したが、12月からの家電エコポイントの減額の影響か、後半売上が減速した
- ・昨年に比べ日曜日が1日少なく、主なイベント行事もなく、かなり厳しい状況となった
- ・年末商戦を向える準備期間でもあるが、エコポイント、ボーナスの増減等消費者心理の悪化を踏まえ、中だるみ傾向にあった

《 商品動向 》

○ 農産

- ・依然とした野菜の高値相場により、売上は好調に推移した。特に気温が高くサラダ材料（きゅうり、きゃべつ、レタス）の動きが良かった
- ・気温が下がった後半は、鍋商材（白菜、長ネギ、菌茸類）が順調に動き出した
- ・本年のみかんの動向は、例年に比べ出荷量が少なく、点数は厳しかったが、単価の上昇で売上は好調に推移した。りんご・ぶどうも好調だった

○ 水産

- ・猛暑の影響により海水温の上昇から生ガキの生育が悪く小粒な為、売上不振となった
- ・うなぎは国産・中国産ともに相場高の影響で値頃での販売が出来なかった
- ・生まぐろ、天然ぶり、サーモン等の刺身類は好調に推移したが、鍋物材料は不振だった

○ 畜産

- ・天候の影響からか鍋物商材より焼肉商材の動きが良かった
- ・牛スライス、牛しゃぶしゃぶ、牛肉すき焼き用が不振で、豚ロース肉を中心に、豚しゃぶの動きが良く、牛肉から豚肉へのシフトがみられた
- ・豚肉うす切り、鶏もも肉、豚挽肉は顕著な動きで、鍋スープ、つくねも好調だった

○ 惣菜

- ・野菜の高騰で生野菜サラダを中心としたサラダ・中華材料が好調だった
- ・コロッケ、フライが好調。全般的に低価格で品質の良い（おいしい）値頃の商品の動向がよかった

○ 日配・加工食品

- ・先月同様、野菜相場高の影響により野菜飲料や冷凍野菜、漬物の浅漬け（白菜、野沢菜漬等）の動きが良かった
- ・健康志向から牛乳より豆乳へシフトが進み、豆乳類は好調に推移した
- ・パウチ系の鍋つゆの動きが気温の低下とともに良くなった。特に今年のトレンドの「トマト鍋」が好調だった

○ ボジョレーヌーボー・ホット商材

- ・予約販売は好調だった。当日販売ではペットボトル、ハーフボトルの低単価商品の動きが良かった
- ・ボジョレーヌーボーだけでなくチーズ、ピザ、チョコレート等を関連販売しながら売り込みを図った
- ・ホット商材は、例年に比べ気温が高いことから、鍋物具材、おでん材料等の動きが鈍い

○ 予約販売（歳暮ギフト・クリスマス・おせち料理）

- ・お歳暮ギフトは、早期割引、無料配送等が定着したが、動きは鈍い。定番ギフトの調味料ギフトが不振だった
- ・クリスマスケーキ、おせちの予約は年々実績を伸ばしているが、12月の動向次第である。各社ともカタログ、販促に工夫を凝らし予約獲得に動いた
- ・キャラクターケーキの予約が好調。パーティーメニューも動きは良い

以上